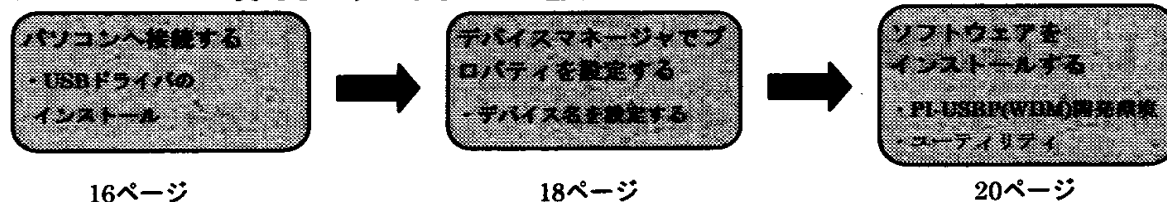


3.2 USBモジュールのソフトウェア

3.2.1 USBモジュールのセットアップ

3.3. セットアップの流れ

USBモジュールが使えるようになるまでの基本的な流れを示します。



3.4. パソコンへ接続する

パソコンへUSBデバイスを接続し、ドライバをインストールします。

ここではWindows Me を例に説明します。OSによって画面表示が異なる場合もありますが、基本的な設定は同じです。

▼ポイント

- ・ Windows 2000またはWindows XPで以降の操作を行うためには、Administrator(権限のあるアカウント)でログオンしてください。
- ・ Windowsに検出されたり、ソフトウェアに表示される名称は、型式から"GY"を除いたものになります。

Step1 添付のCD-ROM「API-USBP(WDM)」をセットする

メニュー画面が表示されます。このメニューは20ページの「3.6.ソフトウェアをインストールする」で使用します。(パソコンの設定によってはメニュー画面が表示されないことがありますが、そのままStep2へ進んでください)

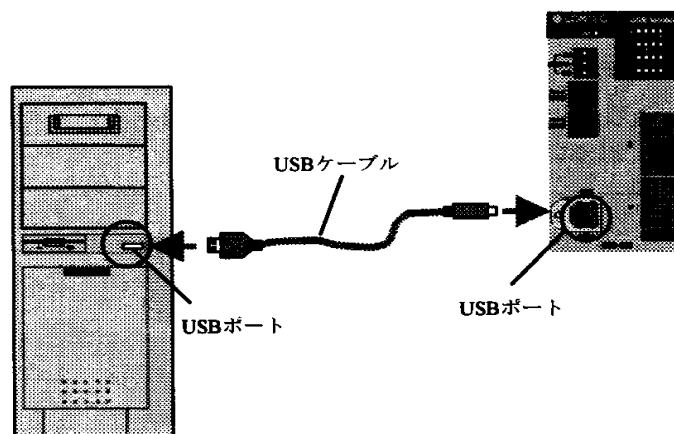
Step2.USB ポートをパソコン本体に接続する

USBモジュールのUSBポートを添付のUSBケーブルを使ってパソコンのUSBポートへ接続します。

コネクタには向きがあります。パソコン側の端子にコネクタが合うように、向きを確認して奥までしっかり差し込んでください。

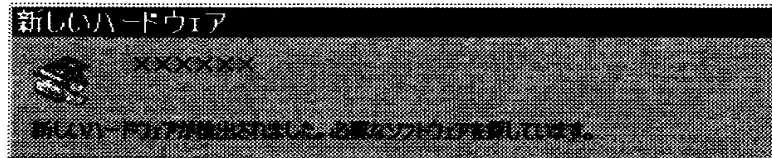
▼注意

別売のACアダプタまたは外部電源を使用する場合は、パソコンへ接続する前に、電源を供給してください。



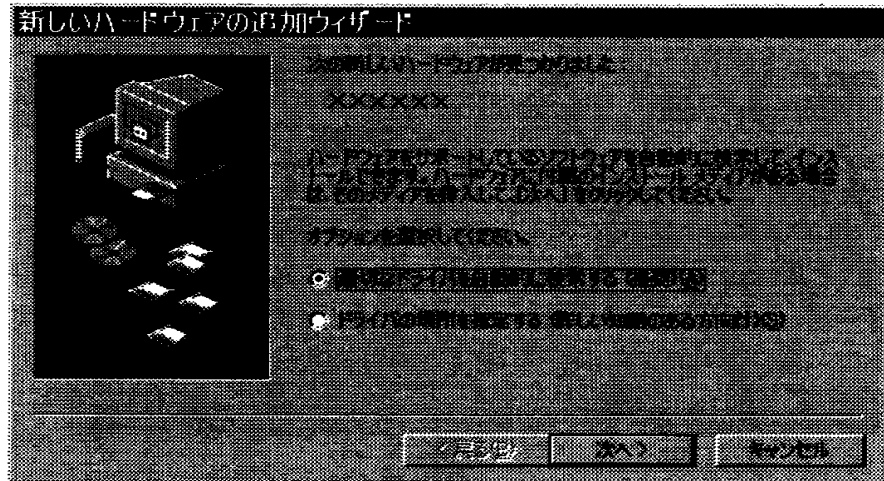
Step3. 「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動します

「新しいハードウェアの追加ウィザード」が起動したら、「適切なドライバを自動的に検索する」を選択し、「次へ」ボタンをクリックします。



添付CDからセットアップ情報を自動的に検出して、USBドライバをインストールします。

XXXXXX: 検出されたデバイス名(型式のGYを除いたものになります)



▼ポイント

自動的に検出されない場合は、添付CDの以下の場所を指定してください。
X:\INF\WDM\DIO (X:CD-ROMドライブ)

Step4 [完了]を押す

[完了]を押すとUSBドライバのインストールが完了します。



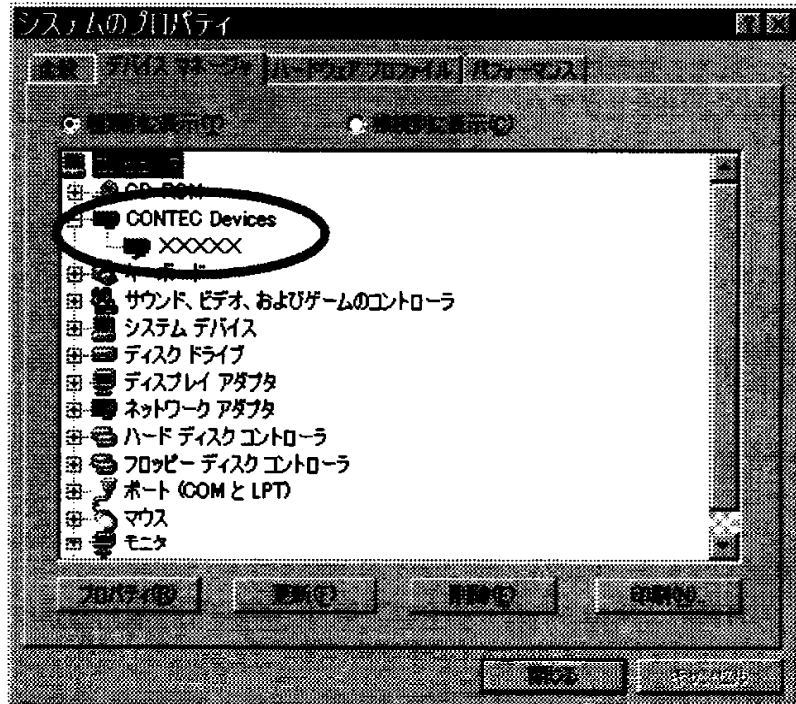
3.5. デバイスマネージャでプロパティを設定する

パソコンにUSBモジュールを接続し、ドライバのインストールが完了したら、デバイスマネージャを開いて、プロパティの設定を行います。

Step1 デバイスマネージャを起動する

[マイコンピュータ]を右クリックして[プロパティ]を選択すると、デバイスマネージャが起動します。

※CONTEC Devicesの
[XXXXXX]にはUSBモジュールの型式からGYを除いたものが表示されます。



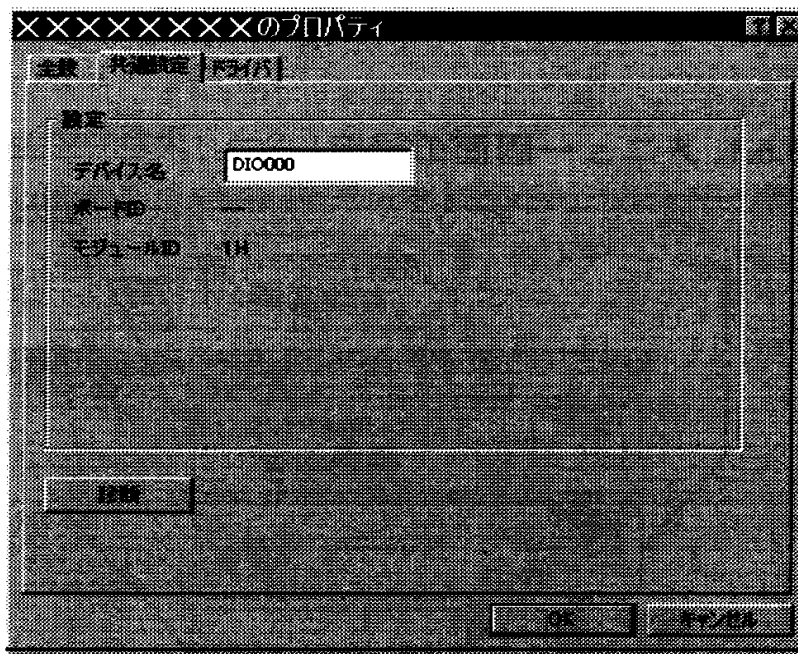
- Windows XP/2000の場合

[スタート]メニューから[設定]-[コントロールパネル]-[システム]をクリックし、[ハードウェア]タブの[デバイスマネージャ]ボタンを押します。

Step2 デバイス名を設定する

USBモジュールの名称を右クリックして[プロパティ]を選択すると、「USBモジュールのプロパティ」が表示されます。

[共通設定]タブを開き、デバイス名のエディットボックスに任意の名称を入力します。(デフォルトのままでも使用できます)



⚠ 注意

この設定をしないと、USBドライバを使用することができません。必ず設定してください。

Step3 [OK]ボタンを押す

[OK]ボタンを押すとデバイス名が設定されます。

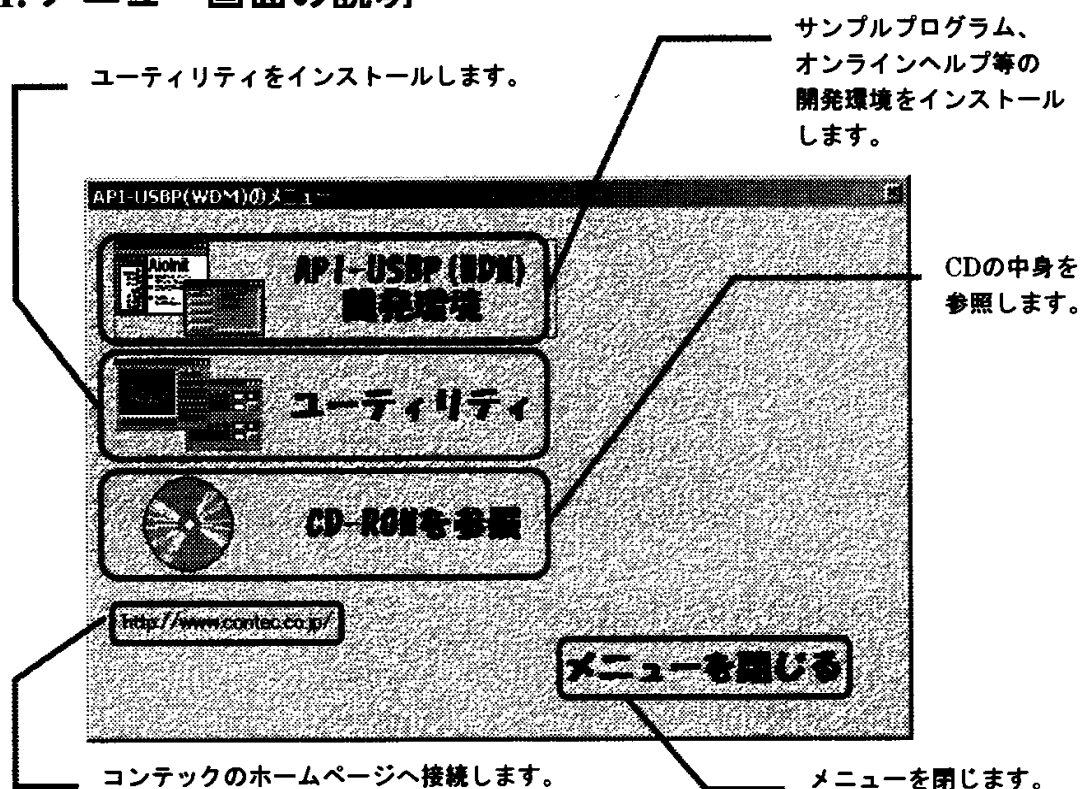
▼ポイント

- ・ お客様が開発したアプリケーションを他のパソコンで実行するには、実行するパソコンで以上の作業を行ってください。(次ページ以降で紹介するソフトウェアをインストールする必要はありません)
- ・ API関数を使用して初期化を行う場合、ここで指定したデバイス名を初期化関数に指定します。他のパソコンで実行する場合にも、同じデバイス名を指定すればアプリケーションを変更することなく実行することができます。

3.6. ソフトウェアをインストールする

USBモジュールを接続して、USBドライバのインストールが完了したら、次にソフトウェアをインストールします。

3.6.1. メニュー画面の説明



▼ポイント

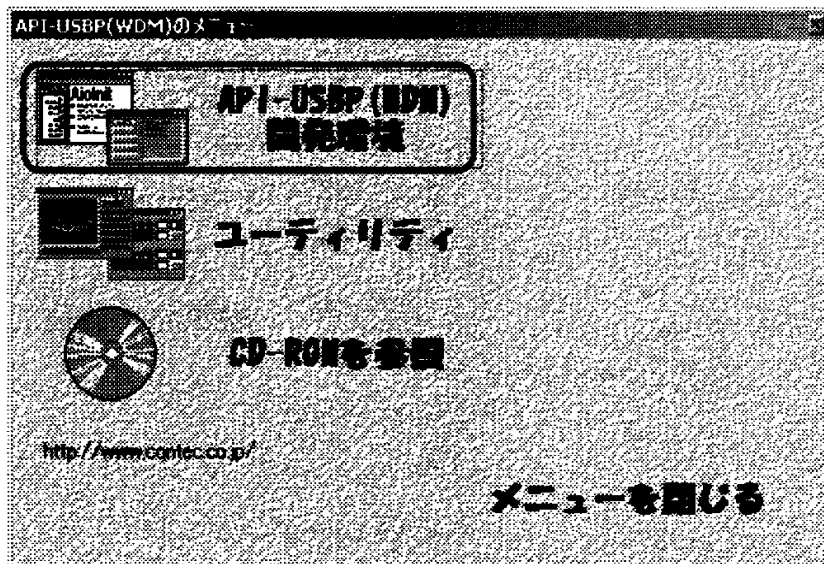
- ・ 添付CD-ROMがセットされていない場合は、セットしてください。自動的にメニューが起動します。
- ・ メニューが起動しない場合は、スタートメニューの[ファイル名を指定して実行]等から X:AUTORUN.EXE (X:CD-ROMドライブ) を実行してください。
- ・ 画面デザインは異なる場合があります。

3.6.2. API-USBP(WDM) 開発環境をインストールする

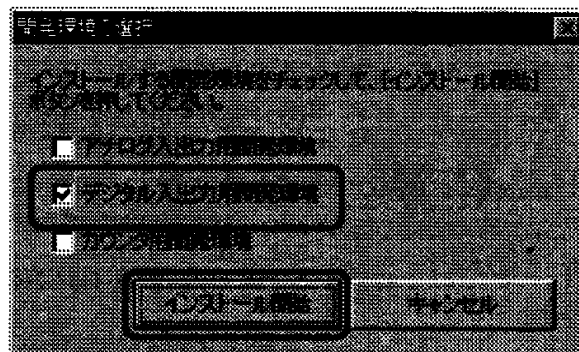
開発環境は、API関数を利用するためのオンラインヘルプや、各言語ごとに用意されているサンプルプログラムをインストールします。

Step1 「API-USBP(WDM)開発環境」をクリックする

[開発環境の選択]ダイアログが表示されます。



Step2 「デジタル入出力用開発環境」を選択する



Step3 「インストール開始」ボタンを押す

画面の指示に従って進んでください。これでインストールは完了です。

※画面デザインが異なる場合があります。